

グリーンシーズン 4/20 オープン 花を温め早春を生き抜くフクジュソウ

今年度は例年より雪解けが早く、滝野公園の林床では山野草たちが独自の知恵をもって、春の訪れを迎えています。

今、滝野公園で春の初めに咲くフクジュソウが、4月20日のグリーンシーズンオープンに合わせて、溪流広場や滝野の森で見ごろを迎えています。



外気温 (18.4°C)



花の中心 (22.0°C)

早春に咲くフクジュソウの知恵

フクジュソウは太陽に合わせて花の向きを変え、花の中心を温めています。こうした工夫により、ハナアブ類の動きを活発にし、花粉の運搬を効率よく行ってもらうといわれています。実際に花の中の温度と外気温を比べてみると、およそ3°Cの差が確認できました。



フクジュソウの花の
中心へやってきた
ハナアブの仲間

※写真は、4月17日
溪流ゾーンにて撮影。



エゾエンゴサク

他にも園内では、木々の葉が開き、林床が日陰になる前に一斉に花を咲かせるエゾエンゴサクやキクザキイチゲなども咲き始め、日ごとに春の彩りが変化しています。

ご多忙のことと存じますが、取材並びに記事掲載のほどよろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

受託管理者：札幌市公園緑化協会共同体 滝野管理センター 広報担当：北村・吉田
〒005-0862 札幌市南区滝野 247 TEL：011-594-2222 FAX：011-594-2230
公園HP <http://www.takinopark.com/>